

Self-Dual

Kazuhito Tanaka

2019.

5.3 Fri. – 19 Sun. **KG+**

11:00 – 19:00

11:00 – 20:00 on Friday

Closed on Monday

Gallery **P A R C**

GRAND MARBLE



Self-Dual

田中 和人

2019年

5月3日[金] - 19日[日] **KG+**

11:00 - 19:00

[金]のみ11:00 - 20:00

Gallery **P A R C**

GRAND MARBLE



Gallery PARC[グランマーブルギャラリー・パルク]では2019年5月3日(金)から5月19日(日)まで、田中和人による個展「Self-Dual」を開催いたします。

本展は4月12日から5月12日まで京都市内を舞台に開催される[KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2019]のサテライトイベント「KG+2019」のスペシャルエキシビションとしても開催するもので、Gallery PARCでは4月12日から4月28日まで開催するヤマガミユキヒロによる個展「印象の遠近: Perspective of Impression」と合わせ、作品上の技法としてのみならず、自らの表現における思考や眼差しに、写真・映像を組み込む作家による連続展として開催いたします。

田中和人(たなか・かずひと/1973年・埼玉県生まれ)は、明治大学商学部卒業後、会社勤務を経て渡米。2004年にSchool of VISUAL ATRS(ニューヨーク)を卒業後に帰国。現在は京都・埼玉を拠点に活動しながら、「写真による抽象表現の探求」を主題に国内外で多くの個展やグループ展などに取り組んでいます。

本展「Self-Dual」は、田中が2015年から取り組む「pLastic_flowers」シリーズの最新作となる「pLastic_flowers III」と、新たな取り組みとなる「PP」シリーズによる作品で構成いたします。

机の上に置いた花瓶の花をモチーフに、様々な角度から見たその「印象」を手前に設置した透明な板に描き、最後にそのドローイング越しに花を撮影した「pLastic_flowers III」。これは「世界に在る(認識される)もの」を必ず写してしまう写真において、その「印象」を描いた絵画を同一のイメージ(写真)へと統合することで、私たちの認識にズレをつくり出し、写真を抽象化する試みです。

新作となる「PP」は、抽象絵画の歴史を視野に田中が描いたペインティングに、様々な色に露光した写真(印画紙)を貼ることで構成されています。その構成は十分に時間をかけて考慮されたもので、田中はここで、繊細な印画作業による写真と即興性を帯びた絵画を、それぞれのメディウムやプロセスを維持しながら、ひとつのイメージへと統合「しよう」としています。

絵画と写真を「同一」のイメージに統合することで、そこに生じるズレを顕在化させる「pLastic_flowers」。絵画と写真を「異なる」ものとして扱いながら、その関係に重点を置くことでイメージを発生させる「PP」。対照的なアプローチによる二つのシリーズ作品により「絵画と写真の二重性」を探求する本展では、鑑賞者はそれぞれ作品の視点・視野の違いをお楽しみいただけるのではないのでしょうか。



pLastic_flowers III #1

2019

Chromogenic print



PP #2

2019

Chromogenic print, Acrylic and Oil on Canvas
W) 1300mm × H) 1620mm



pLastic_flowers II #20

2017

Chromogenic print

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上【info@galleryparc.com】迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 **Self-Dual**

出展作家 **田中和人 Kazuhito Tanaka**

会期 2019年5月3日[金] — 5月19日[日] 11:00~19:00 月曜日休廊 / 金曜日のみ20:00まで

主催 ギャラリー・パルク

料金 無料

会場 Gallery PARC [グランマールブル ギャラリー・パルク] 〒604-8165 京都府 京都市 中京区 烏帽子屋町 502 2F~4F MAP

アクセス 地下鉄烏丸線「四条」駅・阪急京都線「烏丸」駅22・24番出口より徒歩7分。地下鉄烏丸線・地下鉄東西線「烏丸御池」駅より徒歩7分。室町通・六角通 北東角 室町通側入り口より2Fへ

問い合わせ Gallery PARC (正木・村田・岡田) 〒604-8165 京都府 京都市 中京区 烏帽子屋町 502 2F~4F

TEL= 075-231-0706 FAX= 075-231-0703 MAIL= info@galleryparc.com HP= www.galleryparc.com

田中和人

Kazuhiro Tanaka

<http://kazuhitotanaka.tumblr.com>

本展『Self-Dual』では、2019年に制作した新作を発表します。
ひとつは2015年より取り組んでいる「pLastic_fLowers」シリーズの延長線上にあたり、その最新作となる「pLastic_fLowers III」。
もうひとつはまったく新しいシリーズとなる「PP」からの作品です。

「pLastic_fLowers III」は、机の上に置いた花瓶に活けられた花とカメラとの間に透明な板を立て、そこに花の様々な角度からの「見た目」をドローイング(あるいはペインティング)し、最後にペイントされた透明な板越しに花を重ねて撮影する手法によるものです。

花は視界に入った瞬間に、それが花であると認識されますが、ここでは、花の像と絵画(ドローイングやペインティング)を同一の写真表面上に提示することによって、その反射的な認識のプロセスを意識的に引き延ばすことを試みています。

「PP」は、キャンバスに描いたアブストラクトなペインティングの上に、様々な色に露光された写真(印画紙)を貼ったものです。

抽象絵画の歴史を視野に、色彩や構図を直感的に決定しながら描く絵画制作は、まるで即興的なスナップショット写真の撮影のような感覚を持つものでした。一方、その上に貼り付けられた写真は、暗室での手作業により一枚一枚の色彩や露光時間を注意深く調整したもので、それはまるでカラーフィールドペインティングを描くような感覚を持つものでした。

色面となったそれらの写真は(しばしばカッティングされ)ペインティングによる像に呼応したり、抵抗したりしながら、慎重かつ意図的に配置していきます。この作品では、「絵画」「写真」というメディアを維持しながら同一の作品上に共存することで、それらが逆転と回復を繰り返すことで、同時に互いを解体していくことを試みています。

本展『Self-Dual』では、絵画と写真の二重性を探求する「pLastic_fLowers III」と「PP」シリーズをあわせて展示することで、それぞれの視点・視野の違いを検証する機会であるとともに、この二つのシリーズ自体が時に重なり合い、時にズれることで、そこに「二重性」という構造の構築を目論むものです。

Profile

1973年埼玉県生まれ。明治大学商学部卒業後、会社勤務を経て渡米。2004年School of VISUAL ATRS(ニューヨーク)卒業。写真による抽象表現を探求し、国内外で作品を発表。また展覧会の企画も手がける。現在、京都と埼玉を拠点に活動中。

おもな個展に2017年「トランス/リアル-非実体的美術の可能性 vol.7 田中和人」(αM、東京)、2015年「pLastic_fLowers」(Maki Fine Arts、東京)、「high & dry」(Gallery PARC、京都)など。おもなグループ展に2015年「NEW BALANCE #3」(XYZ collective、東京)、「hyper-materiality on photo」(G/P gallery shinonome、東京)など。おもな展覧会企画に2018年「画家の写真展」(soda、京都)、2014年「NEW INTIMACIES / ニュー・インティマシー」(Hotel Anteroom Kyoto Gallery 9.5、京都)、2012年「アストラと12人の芸術家」(大同倉庫、京都)など。受賞歴に2011年TOKYO FRONTLINE PHOTO AWARD グランプリ受賞。



blocks #13
2010
Chromogenic print



GOLD SEES BLUE #1
2009
Chromogenic print



blocks (light) #9
2013
Chromogenic print

Exhibitions

個展

- 2018 「GOLD SEES BLUE」(Maki Fine Arts, 東京)
= 「pLastic_flowers」(Smart center Kyoto DOTS, 京都)
- 2017 「トランス / リアル -非実体的美術の可能性 vol.7 田中和人」(gallery αM, 東京)
- 2015 「before A-Q」(MEDIA SHOP, 京都)
= 「pLastic_flowers」(Maki Fine Arts, 東京)
- 2014 「high & dry」(gallery PARC, 京都)
- 2013 「blocks」(SUNDAY, 東京)
= 「(ZOO)」(Maki Fine Arts, 東京)
- 2012 「Untitled Composition」(Maki Fine Arts, 東京)
- 2010 「GOLD SEES BLUE _ KYOTO」(Gallery PARC, 京都) * 京都国際舞台芸術祭
KYOTO EXPERIMENT企画展
= 「GOLD SEES BLUE」(Gallery Antenna, 京都)
- 2009 「青い絵を見る黄金の僕」(Port gallery T, 大阪)
- 2008 「link」(Port gallery T, 大阪)

グループ展・アートフェア

- 2017 「ニュー・ファンタスマゴリア」(京都芸術センター, 京都)
= 「NADA NEW YORK」[Maki Fine Arts] (Skylight Clarkson North, ニューヨーク)
- 2016 「TAMA VIVANTII 美術- あいまいなパラダイム」(パルテノン多摩, 東京)
= 二人展「デュオ」(Maki Fine Arts, 東京)
= 「TAMA VIVANTII 美術- あいまいなパラダイム」(多摩美術大学, 東京)
= 「NEW INTIMACIES / ニュー・インティマシー」(XYZ collective, 東京)
= 「近未来美術展 DOORS」(伊勢丹 新宿店, 東京)
- 2015 「Coop Labyrinth」(北加賀屋, 大阪)
= 「控えめな抽象」(Maki Fine Arts, 東京)
= 「そのメロンソーダ なんの味?」(旧キリガヤ, 神奈川)
= 「のせでんアートライン2015」(兵庫)
= 「ニュー・バランス #3」(XYZ collective, 東京) curated by Sprout Curation
= 「unseen photo fair」[G/P gallery] (Westergasfabriek, アムステルダム)
= 「Nature Creations」(Spiral, 東京)
= 「Photo London」[G/P gallery] (Somerset House, ロンドン)
= 「hyper-materiality on photo」[G/P gallery] (shinonome, 東京)
= 「still moving @KCUA」(@KCUA, 京都)
- 2014 「Summer Show」(Maki Fine Arts, 東京)
= 「ニュー・インティマシー -親密すぎる展覧会-」(Hotel Anteroom gallery 9.5, 京都)
- 2013 「のせでんアートライン 2013」(兵庫)
= 「light and blindness」(Maki Fine Arts, 東京)
= 「TSCA Rough Consensus」(Hotel Anteroom, 京都)
= 「レッド、ブルー、グリーン」(Maki Fine Arts, 東京)
- 2012 「アブストラと12人の芸術家」(大同倉庫, 京都)
- 2011 「PROMISED LAND」(Maki Fine Arts, 東京)
= 「KYOTO APERTO」(open studio, 京都)
= 「multiple」(PRINZ, 京都)
= 「THE PHOTO / BOOKS HUB, TOKYO」(表参道ヒルズスペースオー, 東京)
- 2010 「Photo Taipei 2010」[Maki Fine Arts] (Sunworld Dynasty Hotel, 台北)
= 「西宮船坂ビエンナーレ」(兵庫)
= 二人展「Cabinet library」(Port Gallery T, 大阪)
- 2009 「京都現世美術館」(建仁寺, 京都)
- 2008 「DOOR 2008」(Port Gallery T, 大阪)
= 「Cabinet library」(Port Gallery T, 大阪)
- 2007 「DOOR 2007」(Port gallery T, 大阪)
= 「mio 写真奨励賞2007」(ミオホール, 大阪)
- 2006 「トーキョーワンダーウォール2006」(東京都現代美術館, 東京)
- 2004 「AAF Contemporary Art Fair」[Visual Arts Gallery] (ピア92, ニューヨーク)
= 「MENTORS」(VISUAL ARTS gallery, ニューヨーク)

展覧会企画

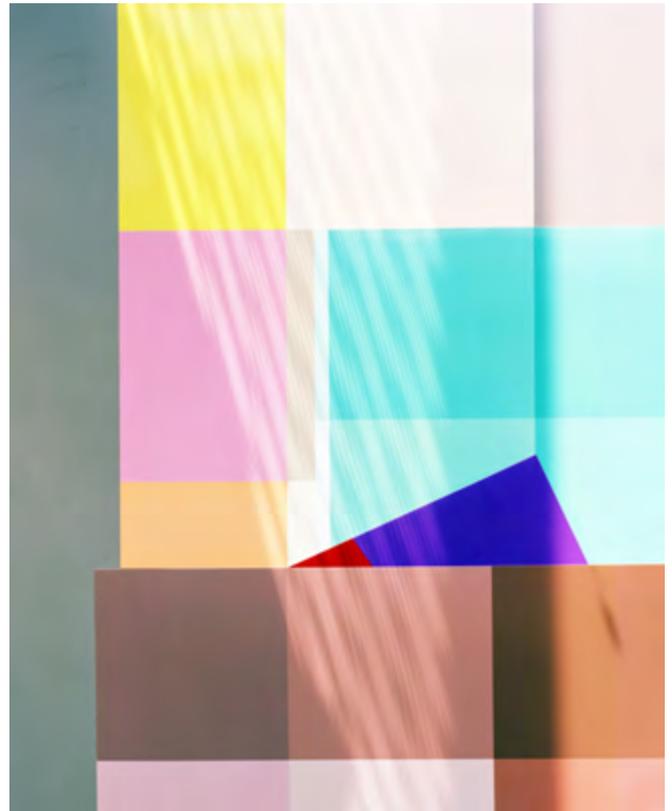
- 2016 「NEW INTIMACIES / ニュー・インティマシー」(XYZ collective, 東京)
- 2014 「stolen names」(京都芸術センター, 京都) * 共同キュレーション
= 「NEW INTIMACIES / ニュー・インティマシー -親密すぎる展覧会-」(Hotel Anteroom Gallery 9.5, 京都)
- 2013 「レッド、ブルー、グリーン」(Maki Fine Arts, 東京)
- 2012 「アブストラと12人の芸術家」(大同倉庫, 京都)

受賞歴

- 2011 TOKYO FRONTLINE PHOTO AWARD 2011 受賞
- 2007 mio 写真奨励賞 入選
- 2006 トーキョーワンダーウォール 入選

収蔵・コレクション

the amana collection



Untitled Composition #1

2011

Chromogenic print



pLastic_flowers #25

2015

Chromogenic print